

根木山レンジャーの巻 琵琶湖河川レンジャー レポート

野洲川の樹木伐採（公募） 土日合同作業の試行

一人での作業は心細い
の住民の声に応え

河川レンジャーより

ここ数年、野洲川下流部（国直轄区間）では、河道内樹木の伐採の公募が行われていて、住民が、野洲川の河道内にて、樹木を伐採する様子が見られるようになってきています。

昨年度は、住民の休日にも伐採したいという声を受けて、休日に伐採作業日をもつて、試行が行われ、琵琶湖河川レンジャーも運営に協力し、作業の合間に行った意見交換会において、参加された住民から、「一人で作業しては、なにかあった時のことを考えると心細い」、合同で作業できると安心できる」といったお話をうかがうことができました。

そうした住民ニーズを踏まえ、今年度は、試行を一步進め、土日合同伐採作業日」として、複数回行うということになりました。琵琶湖河川レンジャーでも、この土日合同作業日」の運営に協力していきます。

さる3月の日曜日に、合同作業日が開催されましたので、その様子をレポートします。



こんにちは、琵琶湖河川レンジャーの根木山です。昨年度につづき、今回も、野洲川で住民による樹木伐採作業に同行させてもらいましたので、様子をご報告します。

春の陽ざしがあたたかに差し込む休日に、川田大橋より少し上流寄りの河川敷（左岸）にて合同の伐採作業が行われました。

湖南市からこられた住民Aさんは、キノコの原木として利用されるため、ノコギリ（人力）で伐れる手ごろな太さの樹木をみつくろって、自家用車（普通車）に2回分の樹木を持って帰られました。他方、県外からキノコの原木用の樹木をもとめてこられている住民Bさんは、チェーンソーを持参されて、かなりの太さのもので、かつ、樹種も「エノキ」と思われるものを見定めて伐採されていました。Bさんからは「野洲川は良い樹木があり、ここ数年、毎年伐採作業しにきている」、10年間くらい続けて来て、継続的に伐採していきたいと思っていた」という話を聞くことができました。



なお、この日は、薪用に樹木を伐採しようという住民の参加はありませんでした。

他方、今年度は、住民による（公募）伐採とは別に、3力年緊急対策」の工事が出た伐木材の無償配布が行われていて、そこらには、たくさんの方が伐木材をもらいに来られています。

河川レンジャー
活動支援室
2020年3月発行
Vol. 40



河川レンジャー活動紹介・レンジャー名・“活動テーマ”・進行している活動

水上レンジャー

行政と住民がともに活動する川づくり
～みんなから愛される野洲川をめざして～

令和元年度活動報告（概要）

- ①野洲川河川清掃
地域住民や、企業、行政などを訪問し野洲川への想いを聴き、行政、地元自治会、地元企業が別々に行っていた野洲川の清掃活動を一緒に行うよう繋ぐ活動を進めました。
- ②野洲川河口ヨシ帯モニタリング調査
意見交換会を開催し立命館山守中学校と行政の想いを聴き、継続調査を実施するとともに新たに左岸の調査を始めるように調整しました。また、高校生も参加・活動する事になり活動の輪が広がりました。
令和2年度も引き続き行政と住民とのつなぎ役として活動を進めていきます。

近藤レンジャー

“河川利用者間の交流の場を作り、協同での清掃活動の実施をめざして”

任期2年目の今年度は、清掃活動を年末に複数団体で行うなど順調に活動を進めることができていましたが、2月末からの新型コロナウイルス流行もあって、年度末に準備していた瀬田川一斉清掃を実施することができなくなってしまいました。大変残念でしたが、入念に準備したことで不可抗力でどうしようもなくなってしまうことがあるということも学べたよい機会となりました。

今月で任期が終わってしまいますが、大変多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

フェイスブックで活動を広報しています！
琵琶湖河川レンジャーFacebookページ
<https://www.facebook.com/BiwakoRanger/>

活動拠点（問い合わせ先）
水のめぐみ館 ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530
E-mail: r-manager@water-station.jp URL: <http://www.water-station.jp/ranger>
FB: <http://www.facebook.com/BiwakoRanger>

◆ 琵琶湖河川レンジャー活動情報 ◆ 琵琶湖河川レンジャー勉強会 第2回水防災研修会を開催しました！

目的

琵琶湖河川事務所管内では、水防災意識社会の再構築に向けて、逃げ遅れをなくするための避難行動や長期的な避難のための取り組みなどが実施されています。

そのような中で、地域の方々が確実な避難行動を実施できるような、最近の取り組みについて基礎知識を学び、今後の地域連携の話題づくりや活動の参考にさせていただくことを目的に勉強会を開催しています。

今回は、昨年度（H30年11月22日）に実施した第1回水防災研修（座学）を踏まえて、「マイ防災マップ」の作成を実践しました。

今回の概要

- ◆開催日時 令和2年1月31日（金） 14時～17時
- ◆開催場所 守山市立 中洲会館・公民館および守山市幸津川町周辺
- ◆講師 山口遼太氏（淀川管内河川レンジャー（枚方管内））
- ◆参加 河川レンジャー、地元参加者、講師、守山市、琵琶湖河川事務所、河川R活動支援室

マイ防災マップづくりの説明とまち歩き

(1) マイ防災マップづくりについて（座学）



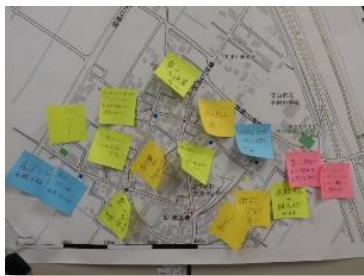
- ① 近年の豪雨災害時の非難遅れの課題と解決策の一つとしてマイ防災マップづくりがあること
- ② 河川レンジャーが地域に入ってマイ防災マップづくりに取り組む方法
- ③ マイ防災マップづくりの際の町歩きの留意点

(2) まち歩き（フィールドワーク）



- ① 出発地点から避難所までのルート確認
- ② 浸水している状況を想定した住んでいる地域の確認
- ③ 水路の有無、幅、ガードレール、電灯の有無、マンホール、障害物の確認
- ④ 目印となる標識や施設の確認
- ⑤ 道路の交通量、歩く時間の目安の確認

(3) マイ防災マップづくり（ワークショップ形式）、意見交換



- ① 各自が現地を歩いて気づいたことを付箋に書いて、大きな白地図に落とす。
- ② 立場に関係なく、参加者の気づきを聞きながら、出ていない気づきを追加する。
- ③ 最後に全体をみて、感想を述べ合う。

感想(アンケートより)

〇マイ防災マップづくりについて

- ・自分の住む地域をみんなで歩き、あらためて、気づきを共有することは、大切なこと。(レンジャー)
- ・自分の住んでいる地域をかえりみることは大切。関心のない人たちにも経験してほしいです。(地元)
- ・今後、展開を考えている地域防災計画(地域の方が主導で作る、特定地域の防災計画)にも重なる部分もあり、非常に参考になりました。これから協力いただける事があるとありがたいです。(守山市)
- ・最近の災害や今回の話を受けて、防災マップの重要性を改めて再認識しました。(河川管理者)